

平成27年4月～27年9月分新倉高齢者福祉センターモニタリング評価表

施設名 新倉高齢者福祉センター

指定管理者 株式会社 日本生科学研究所

評価内容	検査項目	評点
①サービスの維持・向上に向けた取組が行われているか。	1 利用者サービスの向上や利用促進のための取組がされたか	4.0
	2 利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか	4.0
	3 人権尊重に配慮したサービス提供、情報提供がされたか	4.0
	4 利用者意見、要望が管理運営に反映されたか	3.5
【工夫・改善点等】 ○アンケートの意見をもとに新たに体操の講座を企画するなど、要望を取り入れる工夫をしている。一方で、実現の難しい意見については、運営委員会で話し合いをし、決定事項を館内に掲示するなどして、利用者へ周知、理解を得ている。 ○サークル活動の支援を積極的に行っており、すべてのサークルが活動を継続することができている。また、サークルの活動内容によっては介助や見守りの必要な要支援者も参加できるものがあり、講師の先生や参加者の理解も得た上で、要支援者が参加することができている。引き続き、サークル活動への適切な支援を行ってほしい。		
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	1 適正な施設の維持管理、運営が行われたか	4.0
	2 備品台帳により記録が適切に保管されているか	4.0
	3 市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	4.0
	4 必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	4.0
【工夫・改善点等】 ○法定点検を適切に受けており、不具合などの指摘事項も受けていない。今後も引き続き、適正な施設の維持管理、運営をお願いしたい。		
③緊急時の対応、安全管理などの危機管理が適正に行われているか。	1 事故、苦情に対する対応は適切であったか	3.0
	2 危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3.5
	3 避難経路は適切に確保されているか	4.0
	4 事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	4.0
【工夫・改善点等】 ○緊急時のマニュアルについて、小規模利用者とセンター利用者の場合を分けたマニュアルを作成している。訪問サービス時に緊急事態に遭遇した場合にも適切に対応できるよう、作成したマニュアルを職員間で周知してもらいたい。		

<p>○前回のモニタリングでの意見を取り入れ、避難訓練の際、北原小学校まで歩いてみるなど新たな取り組みが見られた。今後もさまざまな工夫をしながら避難訓練を実施してほしい。</p> <p>●入浴施設に利用者が1人だけのときは注意して見回りを行ってほしい。</p>		
④ 快適な職場環境を実現し、職員の安全と健康が確保されているか。	1 適正な人員(人数、有資格者)が配置されたか	4.0
	2 スタッフのシフトは適正であるか	4.0
	3 事業計画書に即した内容・頻度で教育・研修を実施したか	3.0
	4 施設内が整理整頓されているか	4.0
<p>【工夫・改善点等】</p> <p>○事業計画書以上の研修に参加し、常に新しい介護の情報を得ることができるよう配慮している。職員の配置上、難しいことも予想されるが、引き続き積極的に研修に参加してほしい。</p>		
⑤ 指定管理者としての努力がなされているか。	1 指定管理事業及び自主事業は当初計画と整合しているか	4.0
	2 収支状況は当初計画と整合しているか	3.0
	3 経理事務が適正に処理されているか	3.5
	4 経費削減への取組がされているか	3.5
<p>【工夫・改善点等】</p> <p>○支援認定維持率80%と悪化者を減らす努力が実っている。</p> <p>●経費削減の取り組みについて、報告書に記載している以外にさまざまな取り組みを行っている。小額な例でもかまわないので具体的な事例の記載をお願いしたい。</p>		
<p style="text-align: center;">76.0点 (評点実数の合計)</p> <p>結果 _____ × 100 = 95.0% (評点の割合)</p> <p style="text-align: center;">80点満点 (最高点の合計)</p>		

評点の基準例

評点の基本的な考え方	点数
協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(優良)	4点
協定書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(良好)	3点
協定書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(課題含)	2点
協定書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(要改善)	1点